

【日帰り人間ドック 検査項目一覧】

検査項目		検査内容
問診・診察・身長/体重計測・腹囲測定		身長、体重、肥満度、BMI、腹囲の測定を行いません。
血圧測定		血圧測定を行います
視力・聴力(オーディオメーター検査)		視力検査、聴力検査を行います。
血液検査	血液一般検査(白血球・赤血球・ヘマトクリット値・色素素・血小板・末梢血液像・MCV・MCH・MCHC)	貧血、感染、炎症などについて調べます。血小板では出血した際の凝固機能、赤血球では貧血の際の原因を予測するのに有効です。
	肝機能検査(GOT・GPT・ γ -GTP・ALP・総蛋白・総ビリルビン・アルブミン)	GOT、GPTは肝臓の働き、 γ -GTPではアルコールによる肝障害、ALPIは胆道系の障害についてそれぞれ調べます。総蛋白、総ビリルビン、アルブミンは肝障害や栄養状態を調べます。
	脂質検査(総コレステロール・中性脂肪・HDL-C・LDL-C・nonHDL-C)	血液中に含まれるコレステロール、中性脂肪の濃度から高脂血症かどうかを調べます。
	糖代謝検査(空腹時血糖・HbA1C)	血糖値とHbA1Cの数値から糖尿病かどうかを調べます。
	尿酸検査(尿酸)	血液中の尿酸値を調べ、高尿酸血症かどうかを調べます。
	腎機能検査(血清クレアチニン・eGFR)	血清クレアチニンの数値から腎臓の働きを調べます。
	血清アミラーゼ	膵臓の組織及び唾液腺に異常がないかを調べます。
	血清反応検査(CRP)	感染症や炎症性疾患を調べます。
	血液型・HBs抗原検査	※ご希望されない場合は外すことが出来ます。
尿検査(尿蛋白・PH・尿潜血・比重・尿糖・尿沈渣)		尿蛋白、潜血は腎臓及び尿路系の病気の検査で、尿糖は糖尿病の検査で、血糖値が高くなると陽性になります。尿沈渣は尿を遠心分離し貯留物を顕微鏡で観察し腎臓などの異常の診断を行います。
便検査(免疫便潜血反応検査2日法)		肉眼的には確認できない便中への微量の出血を検出する検査で、消化管からの出血の有無を調べます。大腸がんの他、大腸ポリープ、潰瘍性大腸炎、大腸憩室などの病気が分かります。
心電図検査・心拍数		心臓の働きを調べる検査です。心臓の筋肉の異常やリズムの乱れ、血管の硬化等の診断を行います。
胸部X線(正面直接撮影)		胸のレントゲン写真は、肺結核、肺炎、肺がんなどの肺の病気のほか心臓や胸部の異常を調べる検査です。
胃部X線(胃バリウム検査または胃内視鏡検査)		造影剤(バリウム)を飲み、食道、胃、十二指腸の形や、内側の粘膜表面の凹凸を写し出す検査で、このX線写真から胃部の病気を診断します。
腹部超音波検査		肝臓、胆嚢、腎臓などの腹部の臓器を超音波で観察し、結石、腫瘍、ポリープなどの有無を調べます。
眼底・眼圧検査		網膜や網膜の血管、脈絡膜、視神経を観察することで、動脈硬化や緑内障などの眼科疾患を判定します。
肺活量検査		呼吸計で肺活量と1秒量を測定し呼吸機能に異常がないか調べます。